

資源循環(プラスチック・食品ロス)に関するアンケート調査結果

廃棄物対策課

1 調査目的

今後のプラスチック資源循環及び食品ロス削減対策事業の参考にするため、この事業に関する皆さんにおける現状や率直なご意見等を伺いました。

2 調査対象等

調査対象: 県政モニター818人(郵送モニター:282人 インターネットモニター:536)

調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 令和5年10月6日～10月31日

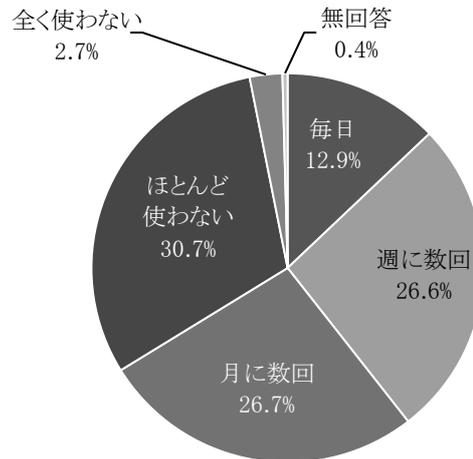
回収結果: 707人(回収率86.4%)

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

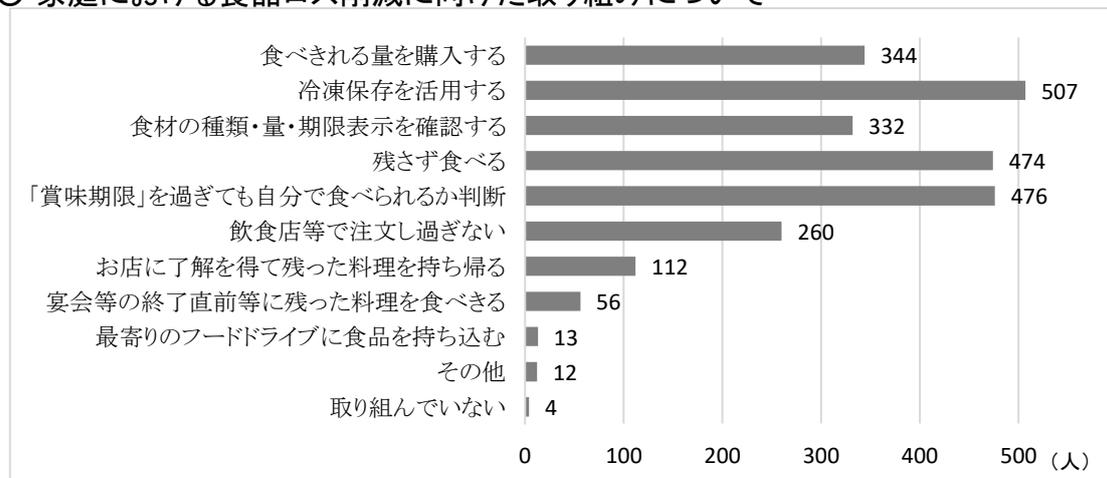
そのため、合計が100%にならない場合があります。

3 結果概要

○ 使い捨てプラスチック製品(容器、スプーン、フォーク等)の使用割合について



○ 家庭における食品ロス削減に向けた取り組みについて



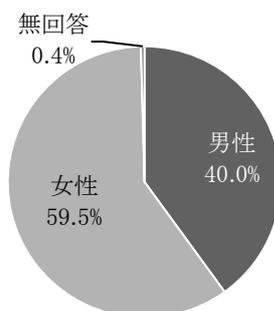
「その他」のうち主なもの

- ・ 「賞味期限」の表示をしっかりと見て、なるべく賞味期限の近いものを選ぶ。(てまえどり)
- ・ 1～2週間分の献立を考え、使うものだけを購入し、使いきる。

4 回答者属性

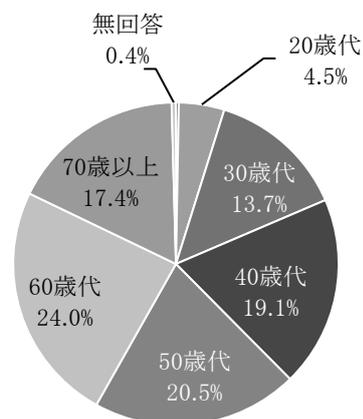
(1) 性別

	人数	割合
男性	283	40.0%
女性	421	59.5%
無回答	3	0.4%
計	707	100.0%



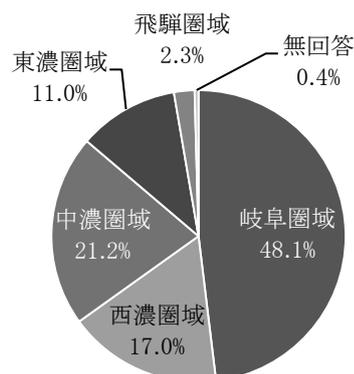
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	2	0.3%
20歳代	32	4.5%
30歳代	97	13.7%
40歳代	135	19.1%
50歳代	145	20.5%
60歳代	170	24.0%
70歳以上	123	17.4%
無回答	3	0.4%
計	707	100.0%



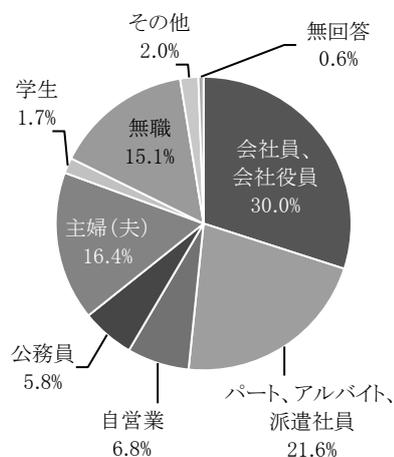
(3) 居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	340	48.1%
西濃圏域	120	17.0%
中濃圏域	150	21.2%
東濃圏域	78	11.0%
飛騨圏域	16	2.3%
無回答	3	0.4%
計	707	100.0%



(4) 職業別

	人数	割合
会社員、会社役員	212	30.0%
パート、アルバイト、派遣社員	153	21.6%
自営業	48	6.8%
公務員	41	5.8%
主婦(夫)	116	16.4%
学生	12	1.7%
無職	107	15.1%
その他	14	2.0%
無回答	4	0.6%
計	707	100%



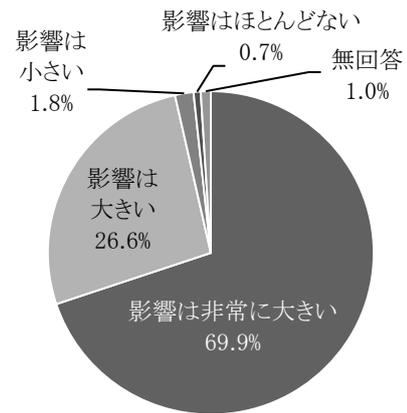
5 調査結果

問1 次の1から4の海洋ごみについて、どの程度「自然環境や生活環境への影響が大きい」と感じますか。

(1) 海岸で捨てられたごみ(海岸由来人工物)

例) 海水浴客が残したごみ等

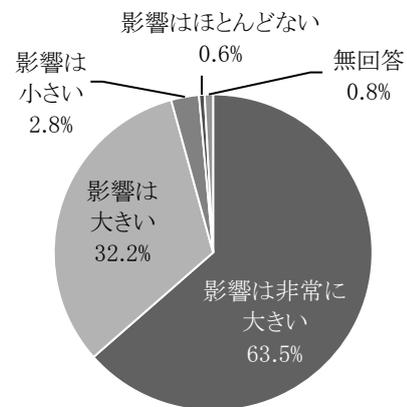
	人数	割合
影響は非常に大きい	494	69.9%
影響は大きい	188	26.6%
影響は小さい	13	1.8%
影響はほとんどない	5	0.7%
無回答	7	1.0%
計	707	100%



(2) 路上等で捨てられ、川を經由して海に流出し、海岸に漂着したごみ(陸域由来人工物)

例) ポイ捨てごみ等

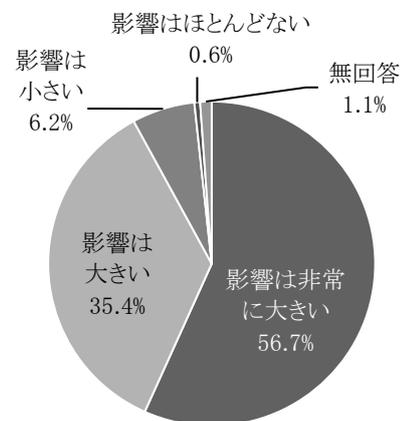
	人数	割合
影響は非常に大きい	449	63.5%
影響は大きい	228	32.2%
影響は小さい	20	2.8%
影響はほとんどない	4	0.6%
無回答	6	0.8%
計	707	100%



(3) 海域で発生したごみ(海域由来人工物)

例) 漁具、浮子等

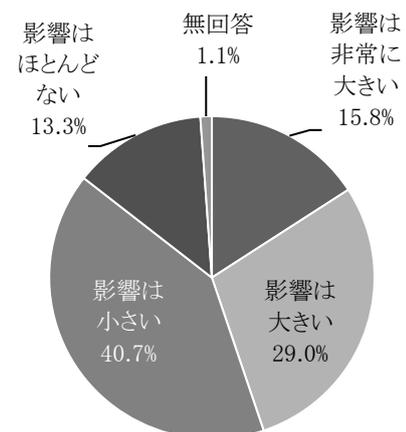
	人数	割合
影響は非常に大きい	401	56.7%
影響は大きい	250	35.4%
影響は小さい	44	6.2%
影響はほとんどない	4	0.6%
無回答	8	1.1%
計	707	100%



(4) 自然物

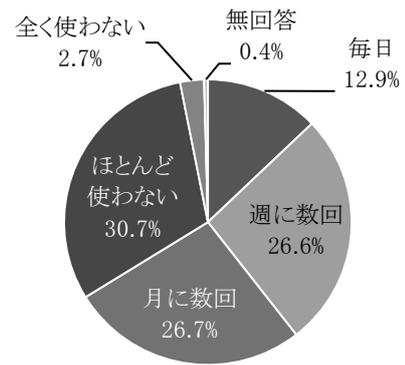
例) 流木、枝葉等

	人数	割合
影響は非常に大きい	112	15.8%
影響は大きい	205	29.0%
影響は小さい	288	40.7%
影響はほとんどない	94	13.3%
無回答	8	1.1%
計	707	100%



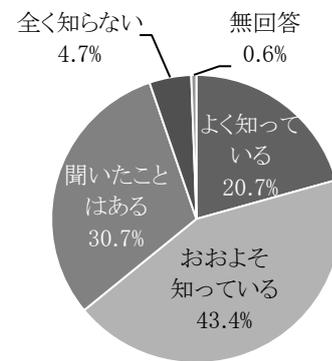
問2 あなたは、使い捨てプラスチック製品（容器、スプーン、フォーク等）をどのくらいの割合で使っていますか。

	人数	割合
毎日	91	12.9%
週に数回	188	26.6%
月に数回	189	26.7%
ほとんど使わない	217	30.7%
全く使わない	19	2.7%
無回答	3	0.4%
計	707	100%



問3 あなたは、プラスチック製の容器には、バイオマスやリサイクル素材、環境中で分解される素材など環境に配慮した原料で作られた容器（＝バイオプラスチック）があることを知っていましたか。

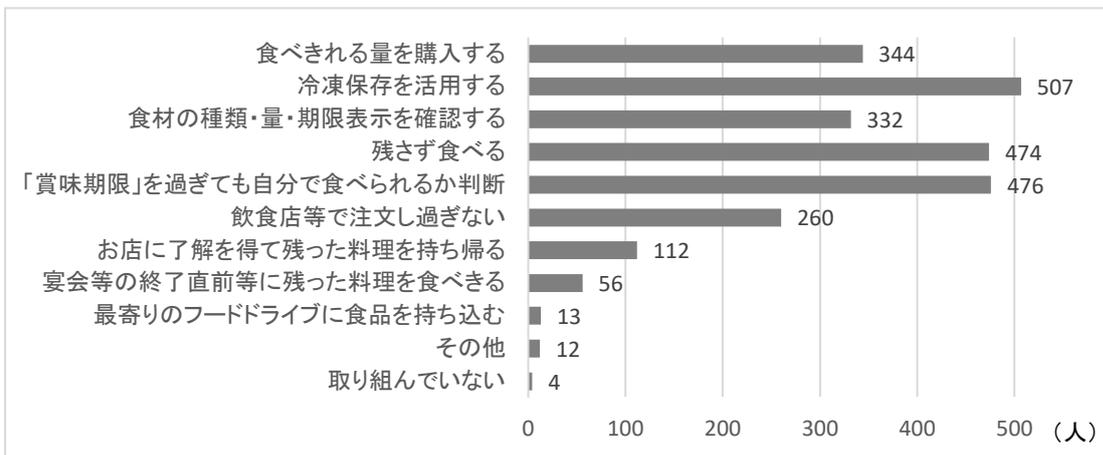
	人数	割合
よく知っている	146	20.7%
おおよそ知っている	307	43.4%
聞いたことはある	217	30.7%
全く知らない	33	4.7%
無回答	4	0.6%
計	707	100%



問4 あなたは、家庭で食品ロス削減のためにどのような取り組みを行っていますか（複数回答可）

回答者 703 人

	人数	割合
食べきれぬ量を購入する	344	48.9%
冷凍保存を活用する	507	72.1%
食材の種類・量・期限表示を確認する	332	47.2%
残さず食べる	474	67.4%
「賞味期限」を過ぎても自分で食べられるか判断	476	67.7%
飲食店等で注文し過ぎない	260	37.0%
お店に了解を得て残った料理を持ち帰る	112	15.9%
宴会等の終了直前等に残った料理を食べきる	56	8.0%
最寄りのフードドライブに食品を持ち込む	13	1.8%
その他	12	1.7%
取り組んでいない	4	0.6%
計	2,590	-

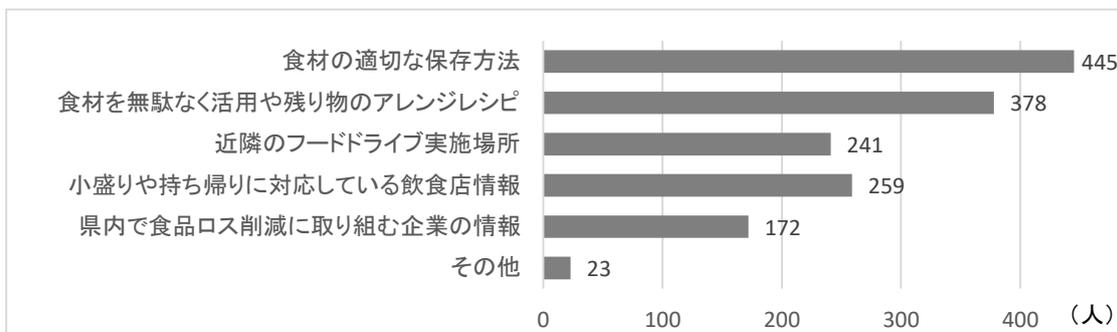


「その他」のうち主なもの

- ・「賞味期限」の表示をしっかりと見て、なるべく賞味期限の近いものを選ぶ。(てまえどり)
- ・1～2週間分の献立を考え、使うものだけを購入し、使いきる。

問5 あなたは、食品ロス削減に取り組むにあたって、こういった情報がある
良いですか。(複数回答可) 回答者 701人

	人数	割合
食材の適切な保存方法	445	63.5%
食材を無駄なく活用や残り物のアレンジレシピ	378	53.9%
近隣のフードドライブ実施場所	241	34.4%
小盛りや持ち帰りに対応している飲食店情報	259	36.9%
県内で食品ロス削減に取り組む企業の情報	172	24.5%
その他	23	3.3%
計	1,518	-



「その他」のうち主なもの

- ・冷蔵庫の中がスッキリしている人のルーティン。
- ・世の中には小さな子でも食事が思うようにできない国もあるという情報を、小さな子供達にも保育園、小学校で知る機会があると良いと思う。

問6 その他、プラスチックごみや食品ロスに関する県の施策についてご意見等がございましたら、お聞かせください。(主な意見)

○ プラスチックごみ

- ・ 飲み物だけでなく、シャンプーなどの液体も中身のみの販売があるといい。詰め替え用でもプラの使用が気になる。
- ・ プラスチックゴミを拾うと換金できるみたいな、拾おうと思わせる仕組みがあると少しずつでもプラスチックゴミは減ると思います。
- ・ これはプラなのか？と迷う時があるので、出しても良いものの情報はどんどん更新してほしい。

○ 食品ロス削減

- ・ フードドライブの情報がほとんどないので、広報や新聞などで地元のフードドライブの実施場所や利用方法を掲載すると意識する人が増えると思う。
- ・ 食品ロスにする前に値段を下げ、消費者に還元する店舗の奨励、紹介を積極的に推進して県民に紹介してほしい。
- ・ 食材ごとの冷凍保存などわかりやすく説明してほしい。